

## 令和 7 年度 在宅医療及び訪問看護の推進に向けた取組みについて

## 1 在宅医療の推進と普及啓発

## (1) 富山県あんしん在宅医療・訪問看護推進会議の開催（高齢福祉課）

在宅医療の一層の推進と充実を図るため、在宅医療・訪問看護の推進方策を検討する有識者等による会議を開催。

・開催日 令和 8 年 2 月 10 日（火）

## (2) 地域包括ケアシステム推進会議の開催（高齢福祉課）

医療、介護、介護予防、生活支援、住まいに関わる関係者が協働・連携して、富山県の地域性に即した効率的かつ効果的な地域包括ケアシステムの構築に向けた取組みを推進することを目的に開催。

・開催日 令和 8 年 2 月 16 日（金）



## (3) 地域包括ケア活動実践顕彰（高齢福祉課）

高齢者の日常生活を支援するボランティア団体や、社会貢献活動の一環として高齢者支援を行う事業者など、地域包括ケアに関する活動を積極的に実践する団体や事業者を顕彰し、地域包括ケアシステムの構築に資する。

〈推薦基準〉

地域社会において、生活支援、介護予防、医療・介護連携、その他のいずれかの分野で積極的かつ他の模範となる取組みを行っている団体や事業者

## ■ 医療・介護連携分野での顕彰団体

R 元年度 氷見在宅医療連携会（氷見市）

R 2 年度 メディカルケアネット蜷気楼（魚津市）

R 4 年度 滑川在宅医療推進協議会（滑川市）

R 5 年度 南砺市医師会地域医療連携部会（南砺市）

R 6 年度 メルヘン在宅あんしんネットワーク（小矢部市）



## (4) とやま医療情報ガイド（医務課）

機関所在場所や日時、診療科目などの項目でニーズに合った医療機関を検索できるサイトを運営。

## (5) 急変時の対応に関する普及啓発

## ○ 救急受診ハンドブックを活用した普及啓発（医務課）

休日夜間急患センターの情報や、心筋梗塞や脳卒中が疑われる症状、救急車の呼び方など、適切な医療機関へのかかり方などに関する情報をまとめたハンドブックを県ホームページに掲載。

## (6) ケアマネジャーによる「人生会議(ACP)」促進事業（高齢福祉課）

在宅医療における「人生会議(ACP)」の促進を図るため、昨年度作成した「ケアマネジャーによる人生会議(ACP)促進マニュアル」の配布や研修会により ACP を実践できる人材を育成。

## 2 質の高い在宅医療提供体制の整備

### (1) 24時間365日対応可能な在宅医療及び訪問看護等の確保・推進（高齢福祉課）

#### ① 訪問看護ステーション設備整備補助

訪問看護ステーションの設置を促進するため、新規開設及びサテライト型の開設、大規模化等を行う事業所の設備整備に必要な経費を支援。

##### ■実績等

R4年度 新規開設 3箇所  
R5年度 新規開設 3箇所  
R6年度 新規開設 2箇所

#### ② 地域密着型介護基盤整備事業

地域医療介護総合確保基金により、市町村の介護保険事業計画に基づく地域密着型サービス等の施設整備に必要な経費や、開設準備等に必要な経費を支援。

##### ■実績等

R4年度 認知症高齢者グループホーム 2箇所  
小規模多機能型居宅介護事業所 3箇所  
認知症対応型デイサービスセンター 2箇所  
地域密着型特別養護老人ホーム 1箇所 等  
R5年度 認知症高齢者グループホーム 1箇所  
小規模多機能型居宅介護事業所 1箇所 等  
R6年度 認知症高齢者グループホーム 2箇所  
小規模多機能型居宅介護事業所 1箇所  
看護小規模多機能型居宅介護 1箇所 等

### (2) 入退院支援の推進

#### 地域リハビリテーション支援体制整備事業（健康課）

厚生センター単位で医療機関及び介護支援専門員等が運用している「入退院支援の手引き（ルール）」等の活用による入院早期からの入退院支援の充実。

##### ■実績等

〈調査内容・実施機関〉

病院 - 在宅連携に関する実態調査の実施（富山県リハビリテーション支援センター及び地域リハビリテーション広域支援センター）

〈調査結果〉

項目	令和4年	令和5年	令和6年
退院調整実施率	87.1%	90.0%	86.5%

### (3) 日常の療養生活への支援

#### ① 地域リハビリテーション支援体制整備事業（サポートセンター事業）（高齢福祉課）

全ての医療圏に地域包括ケアサポートセンターを指定・運営（10機関）することにより、地域ケア会議や、介護予防教室、通いの場等へのリハビリ専門職の派遣体制を強化し、市町村における介護予防事業等の取組を支援。

##### ■市町村介護予防事業等へのリハビリ専門職派遣実績（件数）

区分	地域ケア会議	介護予防教室	通いの場	研修会講師	その他	計
令和4年度	89	64	177	15	10	355
令和5年度	91	38	112	29	11	281
令和6年度	81	53	120	11	9	274

※その他の内容：住宅改修の相談、同行訪問、フレイルサポーター養成講座等

② 医療系ショートステイ病床確保事業（高齢福祉課）

人工呼吸器や中心静脈栄養（I V H）等の医療的処置を必要とする在宅療養者に対し、介護者の緊急入院などにより、一時的に介護等が受けられない場合等に利用可能な専用病床を確保。

■利用率：R4年度 12.7% →R5年度 16.2% →R6年度 24.0%

③ 在宅人工呼吸器使用児者向け非常用電源整備事業（医務課）

災害発生時等に備え、人工呼吸器使用児者を診療する医療機関に対し、人工呼吸器用の非常用電源の購入・貸出しを支援。

■実績等

令和5年度2医療機関から希望があり、計10台の発電機等の購入に対し補助

令和6年度1医療機関から希望があり、計5台の発電機等の購入に対し補助

令和7年度1医療機関から希望があり、計2台の発電機等の購入に対し補助

④ 認知症疾患医療センター運営事業（高齢福祉課）

認知症高齢者等の増加に対応するため、認知症疾患に関する専門相談や鑑別診断などの専門的な医療を行うとともに、地域の医療機関や介護関係機関等と連携した診断後支援を行うことにより、認知症疾患の保健医療水準の向上を図ることを目的とした認知症疾患医療センターを県内4医療圏ごとに1か所設置し、その運営を支援。

(4) 急変時の対応の推進

救急受診ハンドブックを活用した普及啓発（医務課）（再掲）

(5) 看取り支援の充実

① 在宅における看取り支援の推進（高齢福祉課）

郡市医師会が二次医療圏ごとに実施する「人生の最終段階における意思決定支援」に関する講演会や市民向け講座の開催や、患者本人の意思決定を支援する過程を共有する「人生会議の記録」の運用などの取組みを支援。

（富山県医師会委託）

(6) 在宅医療を支える基盤の充実

① 富山県在宅医療支援センター運営事業（高齢福祉課）

県内の在宅医療や在宅看取り等の体制を推進するとともに、在宅医療に取り組む医師の確保・育成、関係者からの相談対応や教育・研修、専用ホームページによる在宅医療の情報提供等、総合的な取組みを通して県内の在宅医療提供体制の充実を促進。

（富山県医師会委託）

■実績等

R5年度 研修会6回

R6年度 研修会6回

R7年度 研修会6回（予定）

② 富山県訪問看護総合支援センター運営事業（高齢福祉課）

県看護協会内に新たに「富山県訪問看護総合支援センター」を設置し、訪問看護師確保のための新卒看護師向けインターンシップ、医療的ケア児等への対応力向上研修や、災害時等における訪問看護ステーションの相互連携の調整を行うなど、訪問看護提供体制の安定化・機能強化を支援。

（富山県看護協会委託）

■実績等

- R4年度 新卒看護師向けインターンシップ 14名参加  
小児医療対応力向上技術研修会 1回
- R5年度 新卒看護師向けインターンシップ 22名参加  
小児医療対応力向上技術研修会 1回
- R6年度 新卒看護師向けインターンシップ 12名参加  
小児医療対応力向上技術研修会 1回

③ 訪問看護ステーションサポート事業（高齢福祉課）

医療圏ごとに「訪問看護サポートステーション」を設置し、圏域内の訪問看護ステーションからの相談への対応や情報交換会等を開催し、事業所間の連携を促進。  
(富山県看護協会委託)

■訪問看護サポートステーション

医療圏		指定機関
新川		朝日町在宅介護支援センター訪問看護ステーション
富山	I地区	済生会富山訪問看護ステーション
	II地区	光風会訪問看護ステーション
高岡		厚生連高岡訪問看護ステーション
砺波		砺波市訪問看護ステーション

■実績等

- R4年度 研修8回（富山医療圏は合同）、情報交換会11回（富山医療圏は合同）
- R5年度 研修11回（富山医療圏は合同）、情報交換会11回（富山医療圏は合同）
- R6年度 研修11回（富山医療圏は合同）、情報交換会10回（富山医療圏は合同）

④ 富山県介護テクノロジー定着支援事業（高齢福祉課）

介護現場における生産性向上や職場環境の改善、介護サービスの質の向上を目的として、ICT機器等の介護テクノロジーの導入・定着のための経費を支援。

※訪問看護ステーションにおいては、日常業務の記録等の管理や個別サービス計画策定等の業務のICT化を支援することにより、業務効率化を促進する。

■実績等

単位:箇所数

項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
実施事業所数	2箇所	3箇所	5箇所	2箇所	3箇所

(※)R5年度までは「訪問看護ステーション業務改善推進事業」により、訪問看護ステーションにおけるICT化を補助(R4年度まで富山県看護協会委託、R5年度のみ直営)

⑤ 訪問看護ステーション暴力・ハラスメント対策事業（高齢福祉課）(R7年度～)

訪問看護を行う看護師等への利用者・家族からの暴力・ハラスメント対策として、セキュリティ確保に必要な防犯機器（位置検索機能・緊急呼び出し機能付き防犯ブザー等）の初年度整備に要する経費を補助。

(7) 在宅医療を推進する専門職の確保・育成等

【訪問診療・往診:医師】

① 総合診療医の確保（医務課）

総合診療医を志望する医学生への修学資金の貸与など、総合診療医の確保に努める。

■実績等

富山県地域医療確保修学資金（特別枠）の貸与を受けた医師のうち、これまで13名の医師が総合診療医を志望

② 富山県在宅医療支援センター運営事業（再掲）

【訪問看護：訪問看護師】

① 富山県訪問看護総合支援センター運営事業（再掲）

② 訪問看護職員の確保・定着のための働き方改革推進事業

（訪問看護トライアル雇用事業）（高齢福祉課）

県内の訪問看護ステーションにおいて、訪問看護の業務経験のない看護師を雇用し、訪問看護師との同行訪問や訪問看護師養成講習の受講機会を設け、訪問看護に必要な知識・技術を習得することにより、就業継続を支援。

（R5年度まで富山県看護協会委託、R6年度より直営）

■実施状況

単位：箇所数

項目	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用事業所数	6箇所	6箇所	4箇所	4箇所	5箇所

② 訪問看護・医療機関相互研修事業（高齢福祉課）

医療機関の看護職員が、訪問看護ステーションへ出向し、訪問看護に同行し、在宅での看護技術を習得することにより医療機関と訪問看護の連携を促進。

また、訪問看護ステーション職員が医療機関へ出向いて、人工呼吸器等の最新の医療機器の情報を得ることにより訪問看護サービスの向上を図る。

（富山県看護協会委託）

■病院看護師出向研修事業

単位：箇所数

項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実施事業所数	医療機関(出向元)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
	訪問看護ステーション(出向先)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所

■病院看護師の研修受入事業

単位：箇所数

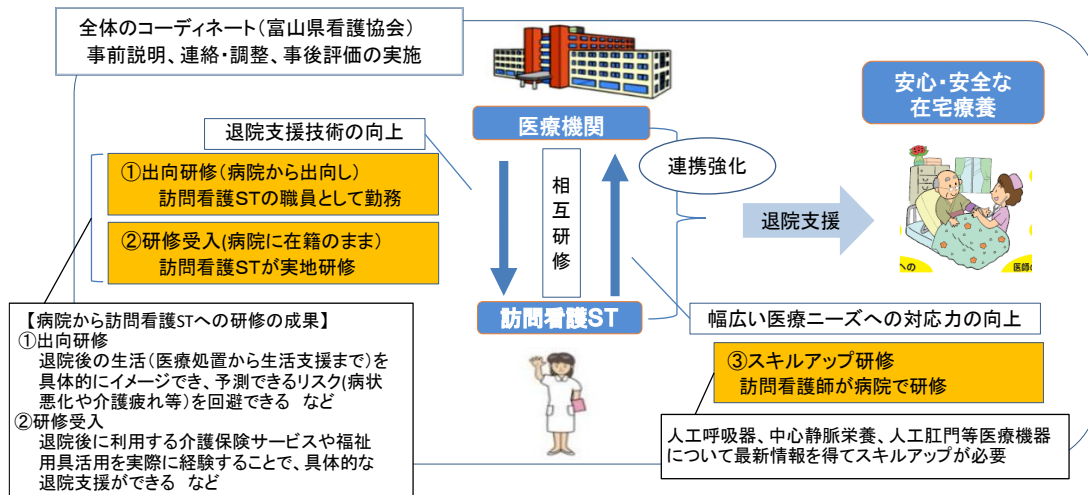
項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実施事業所数	医療機関(研修元)	2箇所	1箇所	1箇所	2箇所	1箇所
	訪問看護ステーション(研修先)	2箇所	1箇所	1箇所	2箇所	1箇所

■訪問看護スキルアップ研修事業

病院において、医療機器装着患者等への看護、人工呼吸器や中心静脈栄養等の医療機器にかかる最新情報や看護技術等を学ぶ研修会を医療圏ごとの病院で実施。

単位：箇所数

項目	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実施医療機関数	2箇所	5箇所	8箇所	6箇所	5箇所



④ 訪問看護師資質向上事業（高齢福祉課）

訪問看護師の資質及び看護水準の向上を図るため、訪問看護師の認定看護師教育課程及び、特定行為研修課程の受講に係る経費を支援。

■実施状況

単位：箇所数

項目	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用事業所数	1箇所	0箇所	1箇所	1箇所	2箇所

⑤ 訪問看護推進事業（医務課）

（富山県看護協会委託）

■在宅ケアアドバイザー派遣事業（事例検討会）

訪問看護師や医療機関に勤務する看護師が、共同で在宅療養患者の療養上の課題を明確にし、対応策を検討することにより、看護師の資質向上や相互理解、連携強化を図る。

項目	R4年度	R5年度	R6年度
事例検討会回数	8回	6回	6回
参加人数	274人	214人	228人

■医療機関における看護師の訪問看護ステーション研修

医療機関の看護師が、訪問看護に赴き、在宅医療移行に向けてのケアの視点や退院支援、地域連携に関する知識を養うことなどを通し、地域医療の充実と質の高い在宅療養支援体制づくりを推進する。

項目	R4年度	R5年度	R6年度
参加者数	7人	8人	10人

⑥ 看護職員確保・定着推進事業（医務課）

（富山県看護協会委託）

■「訪問看護 e-ラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会

訪問看護に必要な基本的知識と技術を習得し、質の高い看護サービスを提供できる訪問看護師を養成する。

項目	R4年度	R5年度	R6年度
参加者数	21人	18人	15人
修了者数	21人	15人	13人

■訪問看護師従事者等研修会

訪問看護に従事する看護職及び訪問看護に関心のある看護職員が、より高度な知識を習得し、質の高い看護を提供する。

項目	R4年度	R5年度	R6年度
受講者数	30人	19人	16人

■訪問看護ステーション管理者育成研修会

訪問看護ステーション管理者としての役割を学び考える。

項目	R4年度	R5年度	R6年度
受講者数	39人	52人	35人

【訪問歯科診療：歯科医師・歯科衛生士】

① 在宅歯科医療研修事業（健康課）

在宅歯科医療の推進を図るため、要介護者等の口腔機能（摂食、咀嚼、嚥下等）の低下等に対応できる歯科専門職の育成研修や保健医療福祉関係者の歯科保健医療に関する理解を深めるための研修を実施。

（富山県歯科医師会・富山県歯科衛生士会委託）

**■在宅歯科医療研修事業の実施状況（4回開催/年）**

項目	R4年度	R5年度	R6年度
参加人数	253	257	250

**② 口腔ケア普及啓発事業（健康課）**

（富山県歯科医師会委託）

要介護状態の方への口腔ケア推進のため、ケアマネジャー等の支援者と歯科関係者の具体的な連携を促進するとともに、歯科疾患等を早期に発見するために、要介護状態になる以前からの取組みを促進し、歯と口腔の健康づくりに関する理解を深めるための研修を実施。

**【訪問薬剤管理指導:薬剤師】**

**薬局等地域連携支援事業（薬事指導課）**

在宅医療等に対応する薬局の体制整備やそれらに対応する薬剤師の資質向上等を図るため、在宅医療に関する研修（ターミナルケア、無菌製剤の調剤等）や多職種と連携強化を図る研修を実施。

**【訪問リハビリテーション:リハビリ専門職】**

**① 地域リハビリテーション支援体制整備事業(サポートセンター事業)（再掲）**

**② リハビリ専門職従事者研修事業（高齢福祉課）**

地域ケア会議及び介護予防に関する知識・技術習得や多職種連携の必要性の理解等を目的とした研修を開催。

（富山県リハビリテーション専門職協議会委託）

**■リハビリ専門職従事者研修の実施状況**

項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
延参加人数	139人 (2回開催)	259人 (4回開催)	167人 (4回開催)	160人 (4回開催)

**【訪問栄養食事指導:管理栄養士】**

**① 在宅医療・介護連携推進支援事業（高齢福祉課）**

市町村の特性に応じた在宅医療・介護連携を推進するため、厚生センター・支所において食形態一覧表の改定や食支援推進研修会を開催。

**② 高齢者の食支援を担う専門職の資質向上のための支援等（健康課）**

高齢者の特性に応じた専門的な栄養指導を実践できるよう、栄養士・管理栄養士の人材育成研修を実施。また、高齢者向けに食事を宅配している配食事業者の地域住民への周知等により在宅高齢者の健康支援を推進。

**【訪問介護:介護福祉士等】**

**訪問介護と訪問看護の連携研修会事業（高齢福祉課）**

24時間365日対応の「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」サービスをはじめとした多職種との連携を推進するため、訪問介護と訪問看護との連携に関する研修会を開催し、医療ニーズを併せ持った中重度の要介護者等への円滑なサービス提供を推進。

**【介護支援:ケアマネジャー】**

**ケアマネジャー医療介護連携研修事業（高齢福祉課）**

在宅高齢者の介護サービスの要であるケアマネジャーを対象として、在宅医療・

介護の連携研修を実施することで医療と介護の連携を促進。

(富山県介護支援専門員協会委託)

### 【認知症対応力向上:医療従事者及び介護従事者】

#### ① 認知症対応力向上研修 (高齢福祉課)

通院中の高齢者等の認知症を早期に発見し、状況に応じた支援体制の構築を図るため、かかりつけ医を対象として適切な認知症診断の知識・技術等を習得する研修を開催するとともに、病院に勤務する医療従事者等を対象として認知症ケアの原則や医療と介護の連携の重要性等を理解する研修を開催。

また、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図るため、認知症介護実務者及び認知症介護を提供する事業所の管理者等に対して適切なサービスの提供に関する知識等を習得する研修を開催。

#### ② 認知症初期集中支援チーム研修 (高齢福祉課)

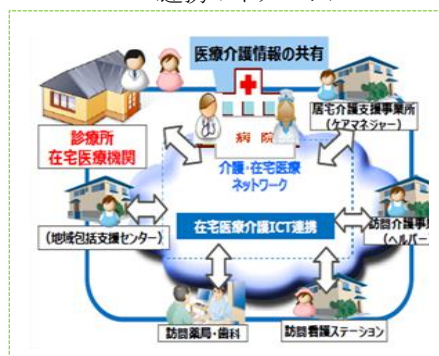
認知症が疑われる人や初期の認知症者への支援を包括的・集中的に行い、自立した生活継続を支援するため、市町村が設置する「認知症初期集中支援チーム」を養成する研修受講に必要な経費(受講費)を支援。

## 3 在宅医療・介護連携の推進

### (1) 医療・介護連携促進基盤整備事業 (高齢福祉課)

患者が安心して療養できるよう、病院と在宅医療、介護を支える機関が連携した切れ目のない支援を実施するため、多職種の医療・介護関係者が在宅療養者のバイタル情報や介護情報、診療画像などの情報をタブレット端末等でリアルタイムに活用できる医療・介護情報共有システムを整備する郡市医師会等へ必要な経費を支援。

〈連携のイメージ〉



#### ■医療・介護連携促進基盤整備事業における医療・介護情報共有システム導入状況

項目	H30 年度	R 元年度	R 3 年度
導入団体数 (申込団体)	3 (新川地域在宅医療支援センター、上市町、南砺市医師会)	1 (射水市)	1 (高岡市医師会)

### (2) 地域包括ケア推進支援事業:在宅医療・介護連携推進支援事業 (高齢福祉課)

市町村が行う地域支援事業の「在宅医療・介護連携推進事業」を円滑に実施するため、厚生センター・支所において、市町村と郡市医師会の連携や、市町村区域を超えた連携・調整、医療と介護の連携に必要な以下の取り組みを実施。

#### ■取り組み内容

在宅要介護高齢者の実態調査、入退院支援の手引きの改定、在宅医療の普及啓発、医療関係者と介護関係者との協議・調整、多職種による事例検討会や研修の開催等

(3) 市町村による在宅医療・介護・障害福祉連携促進支援事業（高齢福祉課）

在宅医療における医療・介護・障害福祉の連携を促進するため、「在宅医療に必要な連携を担う拠点」として富山県医療計画（2024（令和6）年3月改定版）に位置付けた市町村及び在宅医療支援センターが取り組む事業に要する経費を支援。

(4) 地域リハビリテーション支援体制整備事業（健康課・高齢福祉課）（再掲）

全ての医療圏に地域包括ケアサポートセンター（10 機関）を指定・運営することにより、地域ケア会議や介護予防教室、通いの場等へのリハビリ専門職の派遣体制を強化し、市町村における介護予防事業等の取組を支援。

また、二次医療圏に1～2か所、地域リハビリテーション広域支援センターを指定し、稀少疾患患者に対するリハビリ指導やリハビリ専門職への技術援助等を実施。

